



角谷 幸男さん
(水子在住)

富士見市
コミュニティ大学
事務局長

高齢者の生涯学習の学び舎で
活動できる日々感謝

私は昭和46年に富士見市に転入し、現在水子に住んでいます。現役時代は、自宅には寝に帰るだけの生活でした。定年退職すると、付き合う仲間も徐々に少なくなり、「さて、何をやるか」と考えていたところ、女房が「こうれい大学」に入ってみようという学申込書を持ってきました。

第30・31期と通学し、2年間で生涯学習の必要性和地域の仲間たちと交流する素晴らしさを感じました。「こうれい大学」の伝統と歴史の31年間に感服し、私も地域交流を計れて市民の間入りができる喜びました。ところが、平成18年度に「こうれい大学」の

廃止が決定し、がっかりしました。

継続を希望した有志が「伝統と歴史を絶やさないように」と立ち上がり、現在は「富士見市コミュニティ大学」と改称し、すべて自主運営で開校しています。すでに8期目、現在220人の学生が楽しく和やかに生涯学習をしています。私も事務局長の立場で活動の一助を担ってききました。

「事務局長の仕事は大変でしょう」と言われますが、務めさせていただくことに幸せを感じています。高齢化社会の今、自分の存在が多少なりとも認められる場所にいられる幸せはほかにはないかもしれません。富士見市の伝統「高齢者の生涯学習の学び舎」を次世代の方々に引き継ぐまでは、誠意を尽くして頑張っていきたいです。素晴らしい仲間たちとの出会い、そして一緒に活動できる日々感謝しています。



コミュニティ大学のようす

高齢者の

”いきいき”

ライフ



鶴瀬西交流センターは、鶴瀬駅西口から徒歩5、6分の三芳町との境にあり、画整理事業で町並みは大きく変化し、長らく続いてきた近所付き合いも変わりました。高齢者にとっては、団地の高層化や地元商店の減少によって外出機会も少なくなっています。

そうした環境の変化の中で高齢者が気軽に出席けられ、居心地が良い居場所を作るため、当施設で行っている事業を2つご紹介いたします。

高齢者ひろば(第3火曜午後)

絵の好きな方たちが、自分の好きな花や果物などを持ち寄って2時間ほどスケッチをしています。鶴瀬西公民館の時から続く事業ですが、新しいメンバーも加わり、毎回和気あいあいとお互いの絵をのぞきこみながらおしゃべりにも花が咲きます。



唄とおはなしのサロン(第3水曜午後)

季節の童謡・唱歌や懐かしの歌謡曲をハーモニカとオカリナの伴奏でみんなが歌い、歌にまつわる思い出話などに花が咲きます。懐かしいこと、楽しかったことを思い出すことで、脳内の血流が増え、刺激され、脳を活性化させます。同郷の方と故郷の話で盛り上がり、すっかり忘れていた幼いころのことを思い出して、「そうだった、そうだった」と話が弾みます。



各事業は、どなたでも参加できますので、気軽にお越しください。詳しい日程などは、お問い合わせください。

問合せ／鶴瀬西交流センター
☎049-251-2791